

《 審判上の確認 》

- 1 本大会は、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制ルール取り扱い及び2024年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における6人制ルール取り扱いによる。ただしネットの高さは男子2.30M、女子2.15Mとする。
- 2 プログラムに記載されている時刻は、試合開始のホイッスルの時刻である。
- 3 公式練習は全試合を通して行わない。5分間の合同練習（連続試合の場合は最大10分）の後、ただちに試合を開始する。
- 4 各コートには、ウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 5 セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パスとする。
- 6 競技参加者は、レフェリーだけでなく、他の役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆に対しても、フェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動しなければならない。スポーツマンとしてふさわしくない行為をしない（相手チームに向かってのガッツポーズなど）。
- 7 リベロについては、（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の規則に基づき取り扱う。試合ごとに2名まで登録できる。リベロのリプレースメントの際、交代する2名がサイドライン上ですれ違うよう行う。その際、交代する選手同士が、手を挙げたり、つま先を揃えて一旦立ち止まったりする必要はない。
- 8 すべての試合をワンボールシステムで行う。コート外に転がったボールは速やかに拾いに行くこと。また、およそ8秒のテンポでサービス許可を行うため、次のサーバーは、相手からの返球を待たずにサービスゾーンに移動し、ボールを待つこと。試合中のボールの交換は、選手が審判に申し出る。
- 9 試合中のモッピングは、原則としてコート内の選手がスモールタオルで行う。柄付きモップの使用は、全てのタイムアウト中とセット間、及び審判が許可した場合による。スモールタオルは、全選手が着用すること。
- 10 タイムアウトは、監督が「ハンドシグナルを明確に示して」要求する。
サブスティチューションについては、クイックサブスティチューションを採用する。
- 11 セット開始前にコート内でハドルを組む際は、ラインアップシートに記載された6人とスターティングリベロの計7名までとする。